

平成23年度

真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会

平成24年2月23日

．平成 2 3 年度の各機関の取り組み状況



| | 森林 | 水 | 交流 | |
|------------------------------|----|---|----|----|
| 1. 森と湖に親しむ旬間行事 | 森林 | 水 | 交流 | 1 |
| 2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり | 森林 | | 交流 | 6 |
| 3. 第 4 回もりみずカップ少年サッカー大会 | | | 交流 | 9 |
| 4. 『水源地の森づくり』第 6 回植樹会 | 森林 | | 交流 | 10 |
| 5. 越前おおの湧水文化再生計画 | | 水 | 交流 | 12 |
| 6. 越前おおのエコフィールド | 森林 | | 交流 | 14 |
| 7. NPO法人九頭竜自然楽校 | | 水 | 交流 | 16 |
| 8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ | | 水 | 交流 | 18 |
| 9. 真名川ダム弾力的運用管理 | | 水 | | 20 |
| 10. ダム湖の自然環境保全の取り組み | | 水 | | 21 |
| 11. 流木の有効活用 | 森林 | | 交流 | 24 |
| 12. ダム湖周辺の紅葉情報提供 | | | 交流 | 25 |
| 13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携 | | | 交流 | 27 |
| 14. 真名川ダムのダム内部見学 | | | 交流 | 29 |
| 15. 九頭竜ダム展示室 | | | 交流 | 32 |
| 16. ノーム自然環境教育事務所（奥越前まんまるサイト） | | | 交流 | 34 |

．平成 2 4 年度の活動予定 36

【参考資料】 37

真名川ダム見学会

【開催日】平成23年7月23日(土)

【来場者】約230名

【内 容】 堤体内通路、ギャラリー、噴水の直近や操作室等を見学し、ダムのスケールや構造を実体感
美しい森づくりを目指して展示と森のマスク作り(福井森林管理署による)
福井のダムと森について学ぼう(福井県河川課、森づくり課による)
水力発電の魅力を紹介(ダムマニアの方々による)
流木・おが粉のプレゼント



堤体内見学



ギャラリー見学



大噴水見学



流木・おが粉配布



福井森林管理署



福井県河川課、森づくり課



ダムマニアの方々



九頭竜川ダム統合管理事務所

九頭竜ダム・長野地下発電所見学会

【開催日】平成23年7月24日(日) 【来場者】九頭竜ダム会場 約560名 / 長野発電所 370名

【内容】 ゲート室や冬季連絡通路などを見学し、ダムのスケール感を体験
流木のプレゼントと流木工作教室の開催
地下発電所を見学し、大きさを体験
(電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)による)
水力発電の魅力を紹介(ダムマニアの方々による)



ゲート室見学



冬季連絡通路見学



冬季連絡通路の昇降体験



水力発電の魅力を紹介



流木工作教室

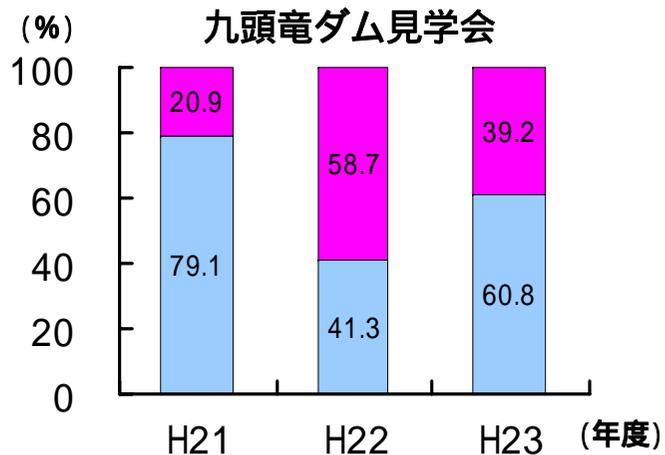
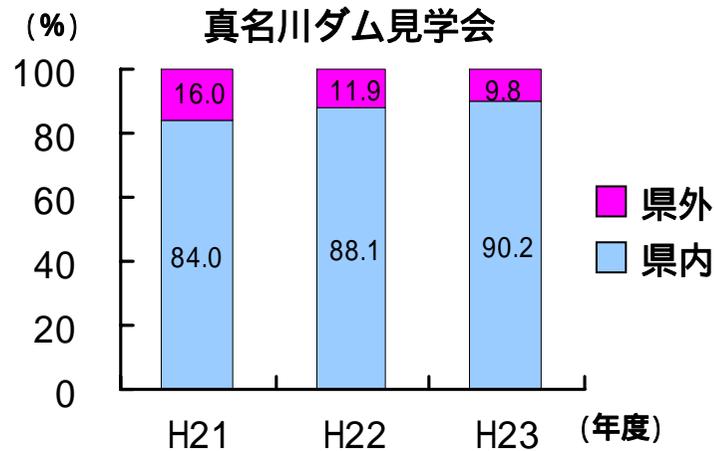


長野発電所見学

アンケート結果

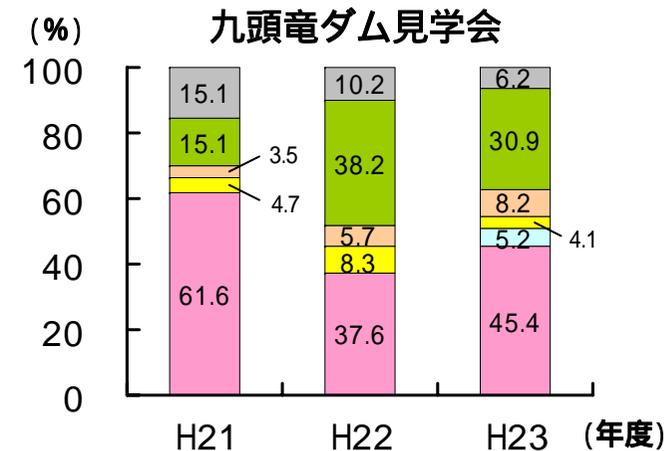
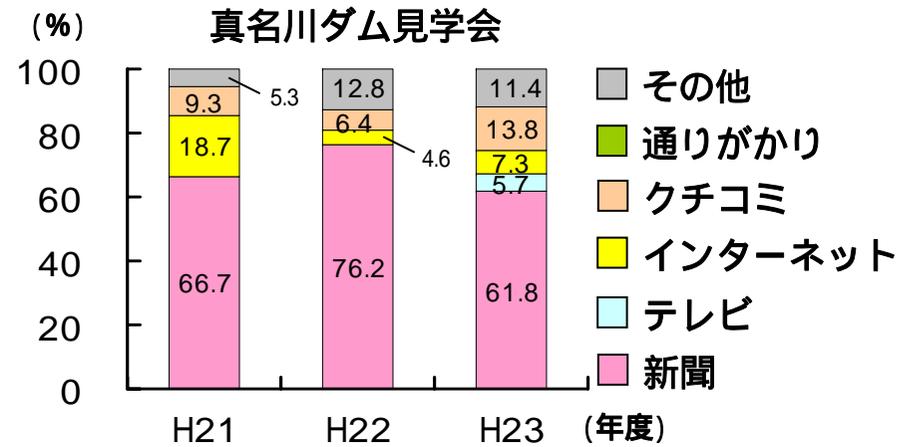
旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。

【来訪者の発地別内訳の推移】



県内の割合は、真名川ダムでは約90%を占めているのに対して、九頭竜ダムでは約60%となっている。

【見学会を知った方法の推移】



両ダムとも新聞の占める割合が多い。
九頭竜ダムでは、通りがかりの割合が多い。

スターランドさかだに会場

国際森林年「森と湖に親しむ旬間」森の恵みでクラフトづくりを実施。
福井森林管理署 / 福井県 / 大野市 / 九頭竜森林組合 / 桃木峠の大杉保全協議会 /
福井県フォレストサポーターの会の協賛により、小枝・どんぐりクラフトなどを体験して頂いた。

【開催日】平成23年7月23日(土)

【内容】

色々などんぐりや枝を貼り付けて作る、小枝・どんぐりクラフトコーナー
鳥のさえずりに聞こえるか！？バードコールづくりコーナー
輪切りの板にキャラクターを書こう・恐竜を作ろう！木にお絵かきコーナー
色々な種類の丸太をのこぎりで切って、堅さや年輪の特徴を体験する体験コーナー
色々な種類のつるで、うまく籠を作ることが出来るか？つる籠コーナー



案内図

各コーナーでの作品と会場の様子



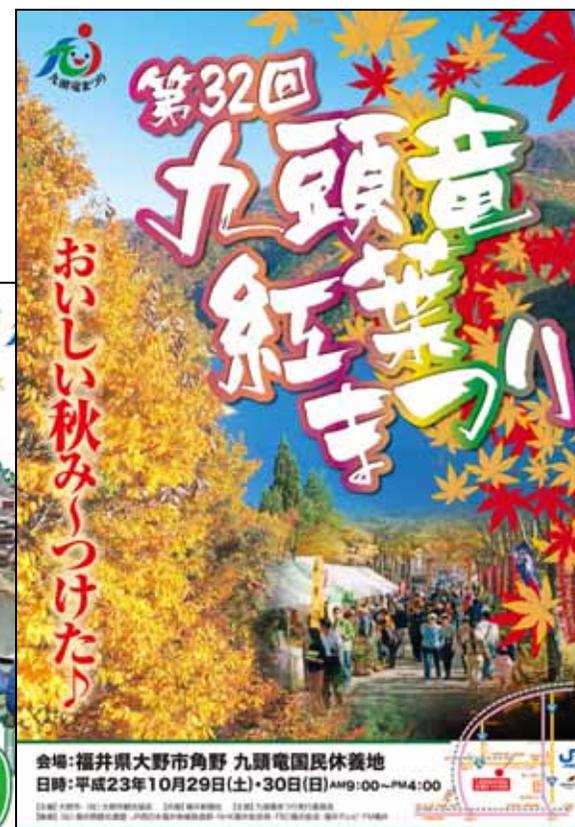
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

- 【主催】大野市/(社)大野市観光協会
- 【共催】福井新聞社
- 【主管】九頭竜まつり実行委員会
- 【後援】(社)福井県観光連盟/
J R 西日本福井地域鉄道部/
NHK 福井放送局/
F B C 福井放送/
福井テレビ/
F M 福井
- 【会場】九頭竜国民休養地
(大野市角野)



第32回紅葉まつりポスター

第25回新緑まつりポスター

第25回九頭竜新緑まつり

【開催日】平成23年5月14日(土)・15日(日)

【内容】新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナーなど
第25回を記念してお弁当コンテストを実施

【入込み人数】約24,800人



新緑ステージ



新緑市場



ポスター展示



昇竜マイタケおにぎり弁当



杉はしづくり



ダムに関するパネル展

第32回九頭竜紅葉まつり

【開催日】平成23年10月29日(土)・30日(日)

【内容】紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木コーナー、くらしの情報コーナーなど
越前美濃街道広域観光交流推進協議会でPR

【入込み人数】約60,000人



紅葉ステージ



紅葉市場



越前美濃街道広域観光交流推進協議会



杉はしづくり



ダムに関するパネル展



流木アート教室

3. 第4回もりみずカップ少年サッカー大会



概 要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルイベントとして、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。国土交通省から「森と湖に親しむ旬間の全国行事」の開催地を持ちまわっていたシンボルフラッグが、本大会の優勝旗として贈呈され、本年度から優勝チームが持ちまわることとなった。

【開催日】平成23年7月9日(土)・10日(日)

【会 場】奥越ふれあい公園陸上競技場

【主 催】フェンテ大野フットボールクラブ

【協 賛】九頭竜川ダム統合管理事務所 / 大野市

【後 援】福井新聞社

参加チーム

岐阜県郡上市 白鳥フットボールクラブ

坂 井 市 ブルーウエーブ三国/
春江町サッカースポーツ少年団

福 井 市 森田サッカースポーツ少年団

永平寺町 松岡サッカースポーツ少年団/
永平寺サッカースポーツ少年団

勝 山 市 ヴィフ勝山サッカースポーツ少年団

大 野 市 フェンテ大野FC有終東サッカースクール(優勝) /
フェンテ大野FC下庄サッカースクール /
有終南サッカースポーツ少年団(準優勝) /
FCおおのスポーツ少年団 /
和泉サッカークラブ

記載省略

4. 「水源地の森づくり」第6回植樹会



概要

- 【趣 旨】 森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年開催。
- 【内 容】 NPOドラゴンリバー交流会の会員の方が、ドングリから育てたコナラ、クヌギ、シラカシなどの苗木320本を提供していただき、各自が持ち寄ったスコップやクワなどで植樹。
- 【開催日】 平成23年11月6日(日)
- 【会 場】 真名川ダム上流 中島公園上流
- 【主 催】 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会
- 【参加者】 NPO法人ドラゴンリバー交流会
大野市
大野市教育委員会
大野市漁業協同組合
九頭竜川中部漁業協同組合
電源開発(株)
北陸電力(株)
(有)春日
(株)前田組
九頭竜川ダム統合管理事務所など 45名

**「水源地の森づくり」
第6回植樹会のお知らせ**

開 催 日：11月6日(日) 9時30分から2時間程度
会 場：真名川ダム上流 中島公園上流
集 合 場 所：裏面会館案内図を参照して下さい。
(会場まで徒歩約15分、大野市街地から車で約40分程度です。)
道 具：スコップ、軍手等をご持参下さい。
天 候：小雨決行

※中止かどうかわからない場合は九頭竜川統合管理事務所
(0779-66-5300)までお問い合わせ下さい。
※事前申込みはいたしません。どなたでも参加いただけますので、
ご家族やお友達等お問い合わせの上、是非ご参加下さい。

この植樹会は、森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年行っているものです。なお、植樹用の苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員の方がドングリから育てたものです。当日、この苗木をお集まりの皆さん方で植樹します。

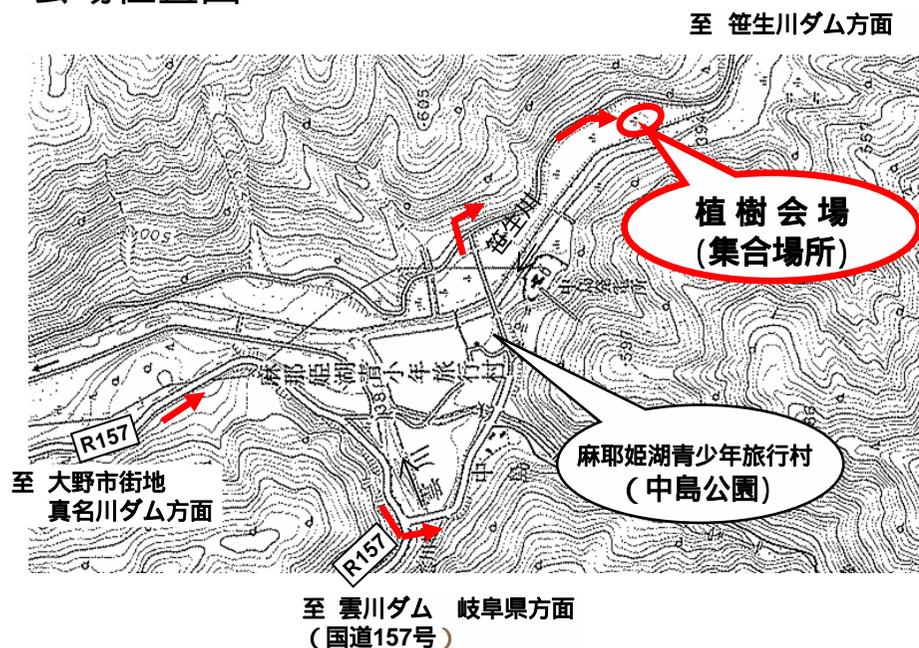
【主 催】
真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

【これまで参加して頂いた機関】
NPOドラゴンリバー交流会、大野市漁業協同組合
大野市漁業協同組合、九頭竜川中部漁業協同組合、電源開発(株)
福井県森林総合事務所、林野庁福井森林管理署
大野市、九頭竜川ダム統合管理事務所 等

植樹会の案内ちらし

会場位置と植樹会の様子

会場位置図



参加者のみなさん

植樹の様子



5. 越前おおの湧水文化再生計画



概要

【背景】 大野盆地は古くから湧水が豊富であり、市内各地に湧水地が点在していた。しかし次第に、地下水位の低下や湧水の減少・枯渇が進み、貴重な資源である地下水や水と共生する生活様式、水に関わる伝承などの湧水文化を後世へ引き継ぐことが困難な状況になりつつある。

【主旨】 古くからある湧水の再生や本市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進める。

【方向性】

国・県・市をはじめとする関係機関や団体などとの連携をより強化させながら、実効ある取組みを進めていく。

再生した湧水を活用し、まちづくりに活かしていく。
市民一人一人が、地下水は地域特有の水循環で成り立っており、一見豊富な地下水が決して無限にあるものではなく、地域共有の貴重な資源であることを再認識して保全対策に取り組んでいく。



対象区域

湧水再生研究調査ワーキング

平成20年6月～平成22年6月 計10回
地下水保全対策についての検討

ワーキング参加者

近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜ダム統合管理事務所 / 福井県河川課・奥越土木事務所・奥越農林総合事務所 / 大野市総合政策課・環境衛生課・上水道課・農林整備課・農業農村振興課(農林振興課)・建設課



現地視察風景

大野市湧水文化再生検討委員会

平成22年8月～平成23年9月 計7回
湧水再生工法の検討や評価

検討委員会参加者

岐阜経済大学 森教授 / 京都大学 角教授 / 近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所 / 農林水産省北陸農政局 / 福井県安全環境部・農林水産部・土木部・河川課・奥越農林総合事務所・奥越土木事務所 / 大野市区長連合会 / 大野市地下水対策審議会 / 真名川土地改良区連合 / 北陸電力株式会社 / 大野市秘書政策局・産業経済部・市民福祉部・建設部



会議風景

6. 越前おおのエコフィールド



概要

【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林(もり)づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/(株)福井新聞社/
福井放送(株)/北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/
大野鉄工金属協同組合/大野市消防団/
越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)/(株)タニコーテック/
越前大野駅/大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/
大野商工会議所/森永乳業(株)北陸支店福井営業所/
J-POWERグループ九頭竜/
福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/
大野市教育委員会/大野市/一般財団法人越前おおの農林楽舎



エコフィールド

活動状況

【花畑エリア】

コスモス大迷路オープン（約2,600m²）

時 期：平成23年9月上旬

来春に向けた「菜の花」の播種

時 期：平成23年10月中旬

【苗畑エリア】

どんぐりの苗づくりイベント

開催日：平成23年10月10日(月)

参加者：越前大野エコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約200名

内 容：どんぐり拾い(親子など約50人)、マルチ掛け、どんぐり植付け(約5,000個)、
平成22年植付け分どんぐり苗の植替え



コスモス大迷路



真名川上流域にてどんぐり拾い
(10月10日)



どんぐり植付け(10月10日)

7. NPO法人九頭竜自然楽校



九頭竜湖カヌーフェスティバル2011

【開催趣旨】 全国のカヌー愛好者や自然体験活動団体が、もっと九頭竜湖を積極的に活用し、子どもたちに「森と湖」の多様な自然と環境を体験する機会がより多く提供されることを願い当カヌーフェスティバルを企画。『森と湖に親しむ旬間』関連行事として、昨年引き続き2回目の開催。

【主催 / 共催】 NPO法人九頭竜自然楽校 / 前坂キャンプ場

【協力】 福井県カヌー協会 / 福井和泉リゾート株式会社 / 大野市

【開催内容】

平成23年7月24日(土) 18:00～21:00 前坂キャンプ場にて

- ・前夜祭・参加者交流会

平成23年7月25日(日) 10:00～15:00 九頭竜湖にて

- ・ドラゴンカヌーツーリング & 水辺の清掃活動(無料)
- ・カヌー体験・流木アート教室(有料)

Kuzuryu158.net
「森と湖に親しむ旬間」関連行事
九頭竜湖カヌーフェスティバル2011開催
みんなでカヌー体験をしてみませんか!!

7月23日(土) 18:00～21:00 会場:前坂キャンプ場
・前夜祭・参加者交流会
参加費:1,000円(1人1杯として/キャンプ代別)

7月24日(日) 10:00～15:00 会場:九頭竜湖
・ドラゴンカヌーツーリング & 水辺の清掃活動(無料)
・カヌー体験(空艇1500円)・流木アート教室(1000円/人)
※カヌー体験は、10:00～15:00の間は、1000円/人(1人1杯として/キャンプ代別)

主催: NPO法人九頭竜自然楽校
共催: 前坂キャンプ場
協力: 福井県カヌー協会
福井和泉リゾート株式会社
大野市

ドラゴンカヌーツーリング
カヌー体験

お問い合わせ先
〒910-0001 福井県大野市大野1-1-1 F.A.C.T.の森みどり
カヌーセンター 福井県大野市大野1-1-1 TEL:0775-2158 FAX:0775-2158
E-MAIL: info@kuzuryu158.net

開催案内パンフレット



前夜祭・参加者交流会



ドラゴンカヌーツーリング



流木アート教室

九頭竜・森と湖のキャンプ2011

平成20年度より(独)国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業の自然体験活動分野として開催しており、今年度で4回目の開催。

【開催日】平成23年8月5日(金)～7日(日)

【会場】前原キャンプ場、下半原ふれあい湖畔、体験農園

【参加者】51名

| 九頭竜・森と湖のキャンプ2011 | 【キャンプレポート】 |
|---|------------|
| <p>開催日時:平成23年8月5日(金)11:00～7日(日)10:00 集合解散場所:京九頭竜湖駅前 会場:前原キャンプ場、下半原ふれあい湖畔、体験農園 参加者:51名</p>  | |
| <p>「九頭竜・森と湖のキャンプ2011」が8月5日～7日、福井県大野市にて予定通り開催され無事終了しました。九頭竜・森と湖のキャンプは平成20年度より(独)国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業の自然体験活動分野として開催しており、今年度で4回目となりました。</p>   <p>開会式の後、まずは前原キャンプ場にて3日間の住まいづくり、テントの建て方を教わった後、グループに分かれ、子どもたちが自分の手でテントを建てています。上手なグループもあれば手こずるグループもありました。</p> | |

画像はNPO法人九頭竜自然楽校ホームページより

流木配布とアート教室 in 九頭竜紅葉まつり

第32回九頭竜紅葉まつりで、流木の無料配布と流木アート教室を開催。

【開催日】平成23年10月29日(土)、30日(日)

| 流木無料配布とアート教室 in 第32回九頭竜紅葉まつり | 【流木アート教室レポート】 |
|--|---------------|
|  <p>第32回九頭竜紅葉まつりが10月29-30日、福井県大野市 九頭竜国民体育場にて開催され、今回も国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所とともに流木の無料配布と流木アート教室を行いました。</p> | |

九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2011

九頭竜湖周辺の山々の紅葉を、カヌーに乗って谷の奥まで入り楽しもうと企画。

【開催日】平成23年11月3日(文化の日)

| 九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2011 | 【ツーリングレポート】 |
|---|-------------|
|  <p>晴れの特異日11月3日文化の日に、「九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2011」を開催しました。九頭竜湖周辺の山々の紅葉はすばらしく、折角だからカヌーに乗って谷の奥まで入り楽しめないと、手づくりカナディアンカヌーの九頭竜自然楽校が果たためて企画の実行です。</p> | |

8. 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ



真名川水辺の楽校

子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的に行い、目標とする生態系を目指している。

- 【場 所】 大野市南新在家の河川敷
- 【管理運営】 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ
- 【整備体制】 福井県奥越土木事務所、大野市、施工業者、真名川水辺の楽校 Bioフレンズ

真名川水辺の楽校施設平面図



画像はパンフレット2009年度版より

【平成23年度 Bioフレンズの活動内容】

| 活動項目 | 実施日 | 活動内容 | 備考 | 会員数 |
|--------|---|---------------------------|--------------------------------------|------|
| 普及啓発活動 | 7月30日 | 大野カントリースクール(オアシス協会主催)受け入れ | 小人8名、大人3名 | 2名 |
| | 8月21日 | 「かわら塾」(大野市主催) | 雨天のため中止 | |
| | 10月4日 | 有終東小学校 総合的な学習の時間出張 | 小人40名、大人2名 | 1名 |
| | 10月11日 | 下庄小学校 総合的な学習の時間 | 小人70名、大人2名 | 1名 |
| | 各体験前日 | 現地下見と危険・注意箇所の抽出・図化 | 体験日に情報共有化 | 延3名 |
| | 10月23日 | 「湧くわく水サミット」参加 | ポスター展示 | 2名 |
| 維持管理活動 | 4月20日 12月20日 | あずまやの雪囲いはずし及び 雪囲い作業 | | 2名 |
| | 5月25日 6月18・19・21日 7月17・25・27日 8月19日 10月9日 | 草刈・清掃作業 | 草刈頻度はあずまや5回/年 堤防2回/年 施設内1・2回/年 | 延21名 |
| | 8月18日 | 倉庫内整理・備品チェック | | 2名 |
| | モニタリング | 5月20・24日 6月21日 | 陸上昆虫調査 | |
| モニタリング | 6月21日 | 植物調査 | | 2名 |
| | 12月20日 | 水生生物調査 | | 1名 |

活動の様子

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------------|------------------|-----------------|-----------------------------|---------------------------|---------------|------------------|----------------------|--|--|--|--|----------------|---------------|----------------|-----------------|--|--|--|--|---------------|-------------|---------------|
| <p>普及・啓発 活動</p> | | | | <p>総合的な学習の時間の受入れ(下圧小学校)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>維持管理 活動</p> | | | | | <p>オアシス協会カントリースクール受入れ</p> | <p>出張授業</p> | <p>湧くわく水サミット</p> | <p>モニタリ ング作業</p> | | | | | <p>あずまやの清掃</p> | <p>堤防の草刈り</p> | <p>施設内の草刈り</p> | <p>施設内のゴミ拾い</p> | | | | | <p>陸上昆虫調査</p> | <p>植生調査</p> | <p>水生生物調査</p> |
| <p>オアシス協会カントリースクール受入れ</p> | <p>出張授業</p> | <p>湧くわく水サミット</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>モニタリ ング作業</p> | | | | | <p>あずまやの清掃</p> | <p>堤防の草刈り</p> | <p>施設内の草刈り</p> | <p>施設内のゴミ拾い</p> | | | | | <p>陸上昆虫調査</p> | <p>植生調査</p> | <p>水生生物調査</p> | | | | | | | | |
| <p>あずまやの清掃</p> | <p>堤防の草刈り</p> | <p>施設内の草刈り</p> | <p>施設内のゴミ拾い</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>陸上昆虫調査</p> | <p>植生調査</p> | <p>水生生物調査</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>陸上昆虫調査</p> | <p>植生調査</p> | <p>水生生物調査</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

9. 真名川ダム弾力的運用管理



概要

真名川ダム弾力的運用管理として、平成15年より、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指す「フラッシュ放流試験」を実施。

なお、実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導をいただいている。平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、予定をしていたフラッシュ放流は中止したが、融雪期の自然出水により攪乱を与えることができた。

フラッシュ放流試験 平成23年度の実施内容

| 項目 | | 実施内容 |
|---------|-----------|--|
| フラッシュ放流 | 実施時期 | 融雪期の自然出水(4~5月) |
| | ピーク放流量、時間 | 140 m ³ /s (4月27日:110 m ³ /s、5月10日:140 m ³ /s) |
| 置土 | 置土材料 | 貯水池上流の堆積土(砂・砂利分中心) |
| | 置土量 | 約200 m ³ |
| | 置土場所 | 置土ステーション |
| | 置土方法 | ラフに置土 |
| | 施工時期 | 積雪前(11月) |
| | 流下時期 | 融雪出水(4~5月) |
| 自然再生試験 | 実施時期 | 施工は積雪前(11月) |
| | 試験場所 | 置土ステーション上端から100m下流の範囲 |
| | 試験内容 | エコトーン(緩斜面)の創出(ツルヨシの除去,河岸のほぐし,巨石の河川への投入) |

【試験の状況】



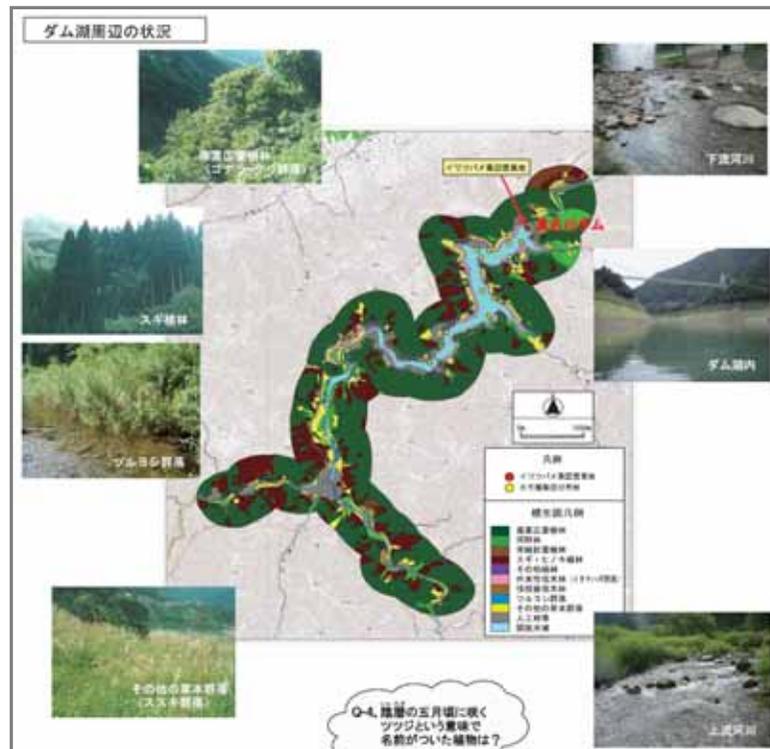
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み



真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

- 【概要】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分かりやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所にて配布している。
- 【概観】 サイズ:縦10cm×横20cm / 屏風折 全12ページで構成
- 【配布状況】 ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布

【掲載例】



真名川ダム環境マップのマップ面



九頭竜ダム環境マップの底生動物、魚類のページ例

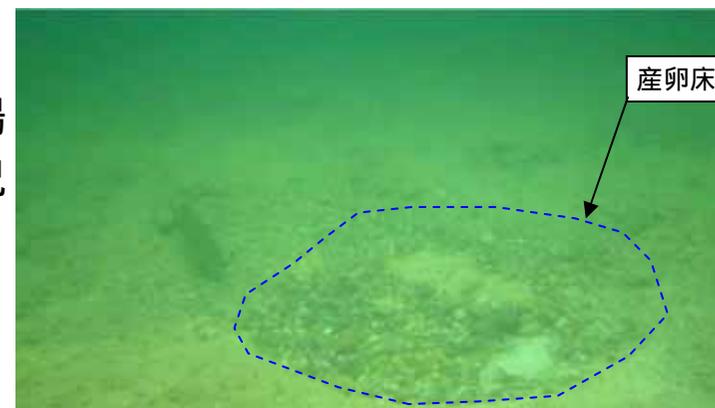
九頭竜ダム湖の特定外来生物「コクチバス」対策

【調査経緯】

平成19年度に「河川水辺の国勢調査」の一環として魚類調査を行った際、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を捕獲確認。コクチバスは繁殖能力が高く、駆除せずに放置した場合、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあると考えられるため、平成21年度より調査を実施。本年度も、福井県、奥越漁業協同組合と連携し、おのこの方法で駆除を実施。

【調査結果】

「コクチバス」の産卵期である5月～7月にかけて、産卵場所になると考えられる浅瀬を中心に、繁殖状況及び生息状況の調査を行い、あわせて繁殖の抑制のため駆除を実施。なお、産卵期は5月～7月初旬にかけてとされていたが、7月中旬まで繁殖(産卵)が確認された。



産卵床の状況

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|-----|---------|----------|-----------|
| 産卵床 | 68箇所 | 34箇所 | 45箇所 |
| 卵 | 約9,200個 | 約18,200個 | 約17,400個 |
| 稚魚 | 7,352個体 | 5,635個体 | 約18,300個体 |
| 成魚 | | 133個体 | 187個体 |

亜成魚含む

調査で確認した産卵床は破壊し、卵、稚魚はほぼ全て、成魚(亜成魚を含む)は捕獲できた67個体を駆除。

九頭竜ダム湖の特定外来生物「コクチバス」対策

【駆除の実施状況】

電気ショッカーボートによる駆除を実施
(福井県)

記載省略

平成23年6月22日(水) 福井新聞20面

【新たな特定外来生物】

平成23年6月21日に、福井県、奥越漁業協同組合と連携しコクチバス共同駆除を実施した際、刺し網にウチダザリガニの生体を確認。

記載省略

平成23年7月14日(木) 県民福井18面

11. 流木の有効活用



概要

【流木対策】 ダム湖に流れ込んできた流木はゲート操作などに支障とならないよう回収

【有効利用】

「九頭竜新緑・紅葉まつり」で流木の配布や「森と湖に親しむ旬間」で、流木や流木から作った「おが粉」にして一般の方へ配布
流木工作教室などを開催し、流木のアートの紹介
「おが粉」化や「チップ」化して活用()

「おが粉」の活用：
ねかせたおが粉を水源地の森づくり
植樹会場の土壌改良に使用
「チップ」の活用：
防草用のマルチ等として使用を予定



九頭竜新緑まつり 流木配布



九頭竜ダム

森と湖に親しむ旬間 流木配布



真名川ダム



森と湖に親しむ旬間 おが粉配布



九頭竜紅葉まつり 流木配布



九頭竜ダム

森と湖に親しむ旬間 流木工作教室



真名川ダム



「チップ」(九頭竜ダム)

12. ダム湖周辺の紅葉情報提供

概要

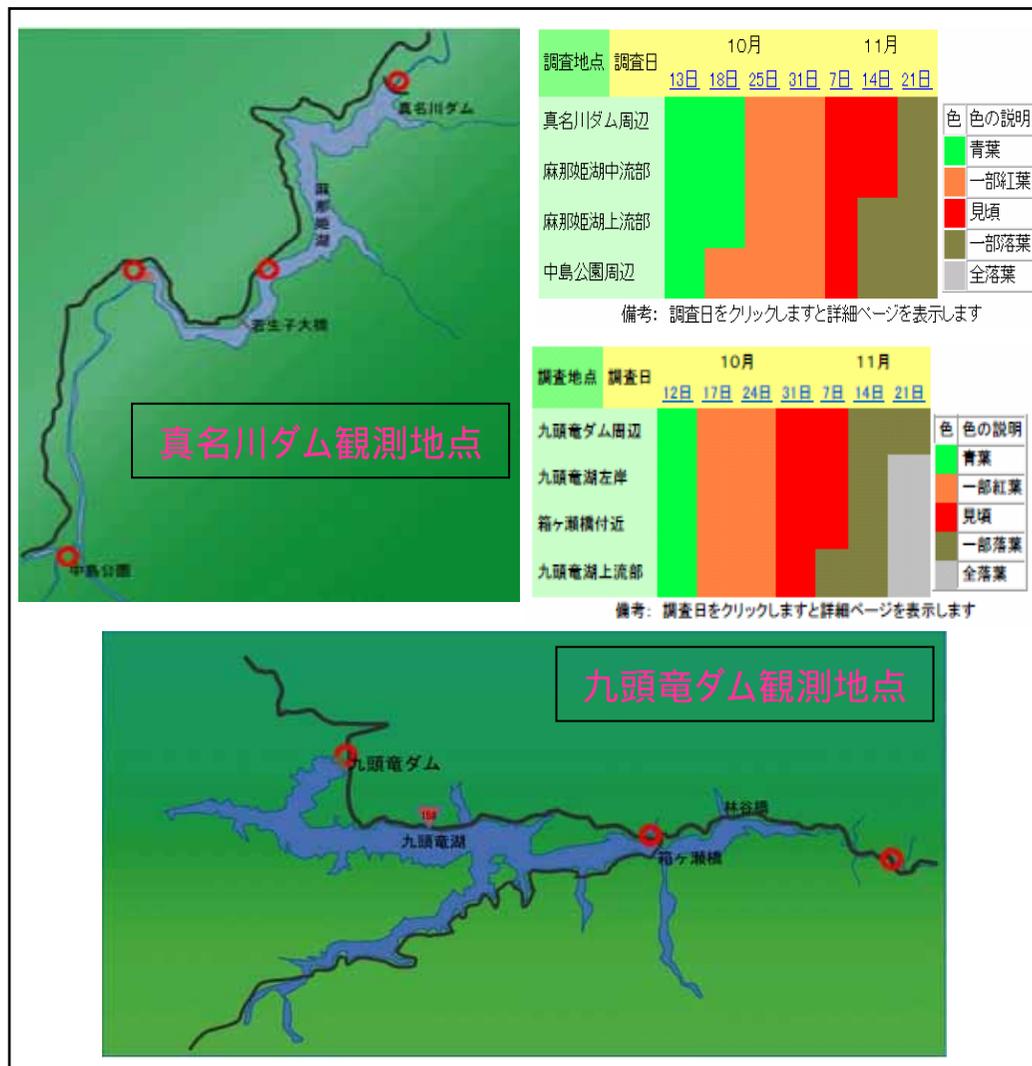
麻那姫湖、九頭竜湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真に撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供したもので、昨年に引き続いて実施。

【期 間】平成23年10月14日(金)～
平成23年11月21日(月)

【提供URL】九頭竜川ダム統合管理事務所
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>

| | | |
|------|---|--|
| 観測地点 | 麻那姫湖 (真名川ダム) | 九頭竜湖 (九頭竜ダム) |
| | 真名川ダム周辺 麻那姫湖中流部 麻那姫湖上流部 中島公園周辺 | 九頭竜ダム周辺 九頭竜湖左岸 箱ヶ瀬橋付近 九頭竜湖上流部 |

記載省略



【麻那姫湖(真名川ダム)周辺】



真名川ダム周辺の紅葉情報(2011年度版)をお届けいたします。

平成23年11月7日現在

真名川ダムの下流部、中流部、上流部とも、紅葉の盛りの時期になってきました。上流部などでは一部で落葉が進んでいますが、しばらくは見頃の時期が続くでしょう。

なお、真名川ダムでは現在、噴水は行っていませんが、バルブからの放流を見ることができます。

現在、真名川ダムでは様々な工事が行われているため、お立ち寄りの際には通行に十分、ご注意ください。

真名川ダム周辺(下流部)



真名川ダム周辺(ダムより下流側)



真名川ダム周辺(真名川ダム管理支所から下流側)



【九頭竜湖(九頭竜ダム)周辺】



九頭竜ダム周辺の紅葉情報(2011年度版)をお届けいたします。

平成23年10月31日現在

九頭竜ダムの周辺や、九頭竜湖上流部では紅葉は見頃の時期になっています。ただ、例年に比べ今年の紅葉の色づきは、あまり良くないように思われます。紅葉せずに茶色くなってしまっている木々も所々見受けられます。

現在、国道158号線では随所で道路工事が行われています。ダムに立寄る際には安全に注意して下さい。

ダムの全景です



ダムの左岸側の取水口周辺です



ダムの右岸側の管理支所周辺です



ダムの右岸側の管理支所前の状況です



ダム管理支所から貯水池をみた状況です

13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携

ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

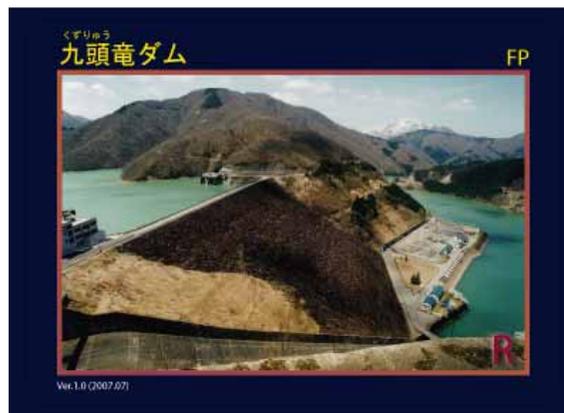
平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
ダムや周辺施設のみで配布

全国统一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載 (サイズ:縦6.3cm×横8.8cm)

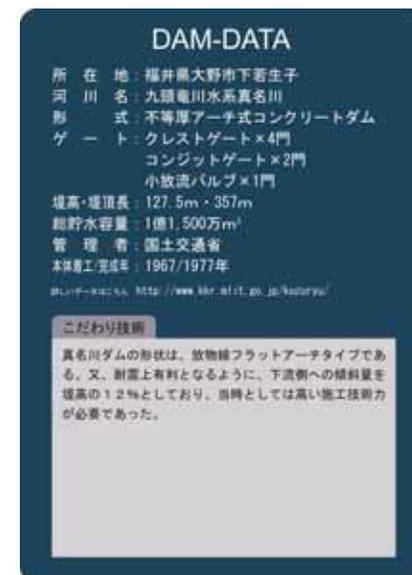
九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内



ダムカード表面 (真名川ダム)



ダムカード表面 (九頭竜ダム)



ダムカード裏面のイメージ

【真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況】

(:平成23年1月～平成23年12月末現在)

| | 真名川ダム | 九頭竜ダム |
|-----------|----------------------|----------------------|
| 配布場所 | 真名川ダム管理支所 | 九頭竜ダム管理支所 |
| 配布時間 | 9:00～17:00(土・日・祝日含む) | 9:00～17:00(土・日・祝日含む) |
| 平成23年配布枚数 | 972枚() 累計:5,108枚 | 1,731枚() 累計:7,284枚 |

ダムマニアとの連携

【ダムマニアとは】

ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
インターネットやイベントを通じて交流
近年、メディアでも話題に

【ダムマニアとの連携】

森と湖に親しむ旬間(平成23年7月)で、「ダムマニア」の方々により、自然再生エネルギーである水力発電の魅力を再認識してもらうように、パネル及び写真で説明、紹介
ダムマニアの方々が作成したオリジナルのダムカードを展示(九頭竜ダム管理支所)



ダムマニアの方々による写真展
(森と湖に親しむ旬間の真名川ダム会場)

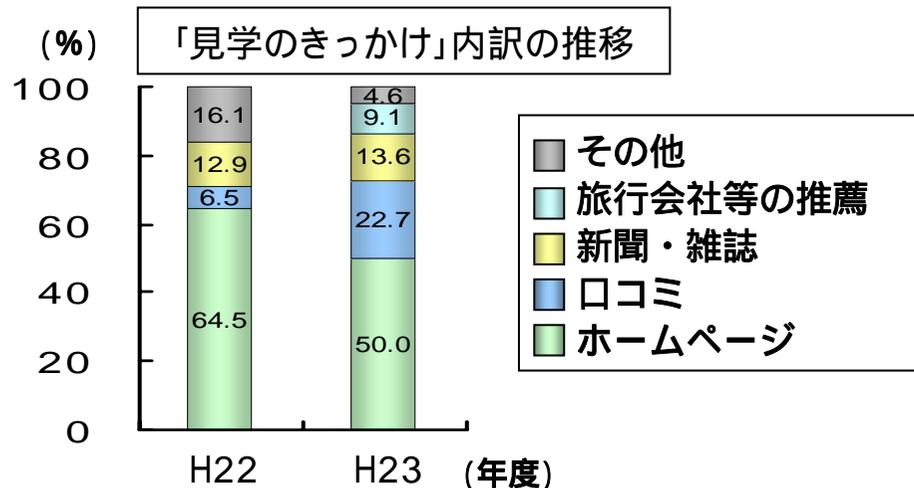
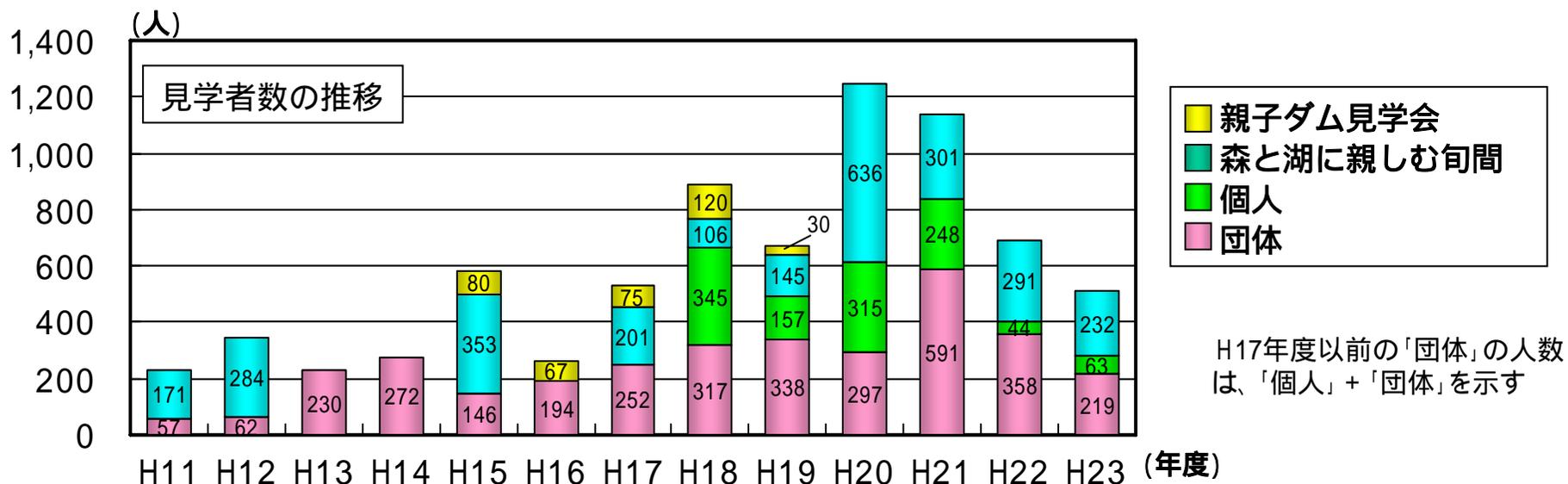
ダムマニアの方々による水力発電のパネル展
(森と湖に親しむ旬間の九頭竜ダム会場)

14. 真名川ダムのダム内部見学

概要

ダム管理支所職員による真名川ダムの堤体内および周辺の見学案内を実施している。見学申込の予約受付を九頭竜川ダム統管理事務所ホームページにて随時行っている。

【見学者数】平成23年度 514名(暫定)



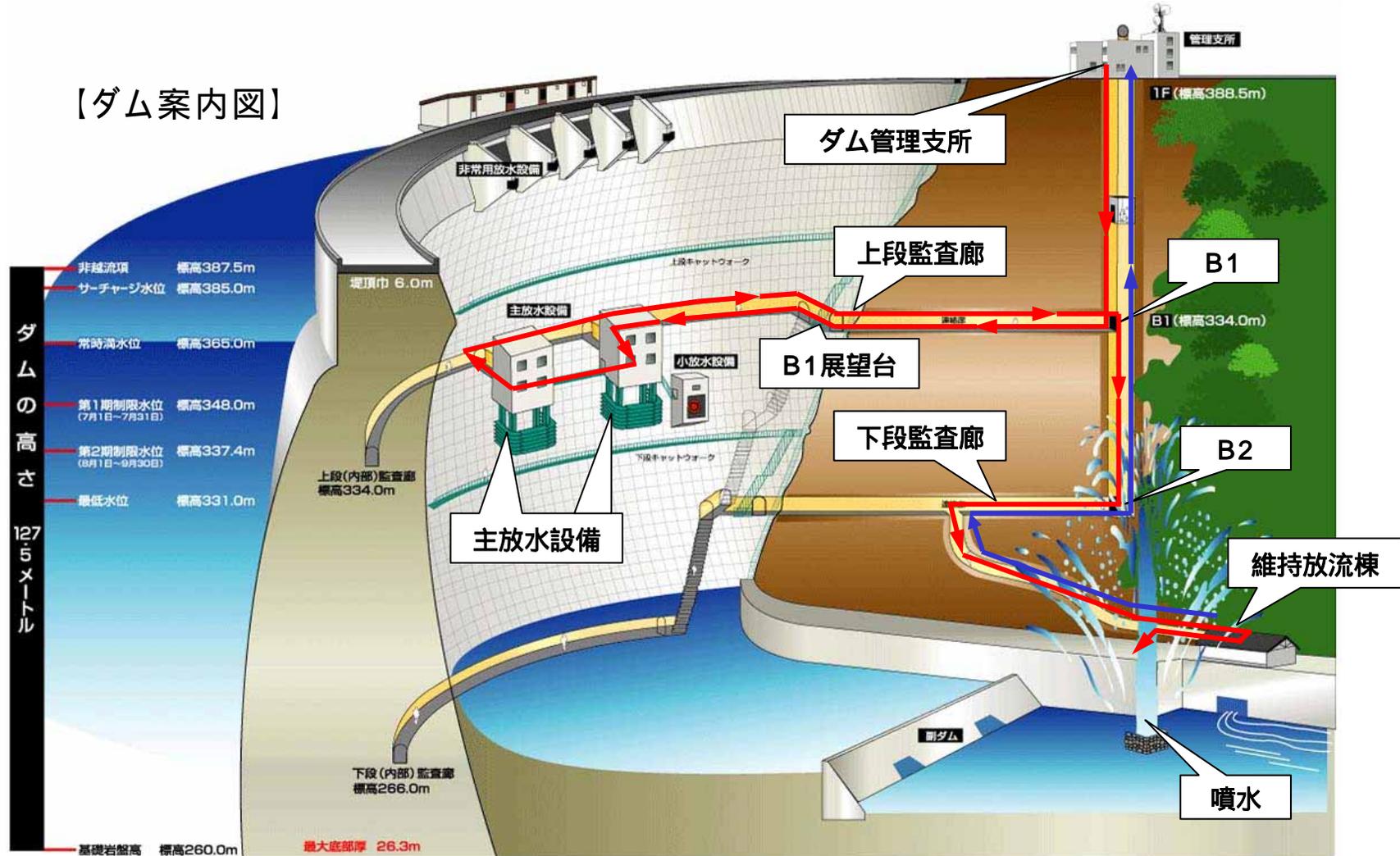
「見学者数の推移」では見学者数は、平成20年度をピークに減少傾向にあり、特に団体の減少率が高い。

「見学のきっかけ」では、両年ともホームページの割合が高い。また、平成23年度では、口コミの割合が増えている。

見学コース

| コース | 見学ルート | 時間 | 見学場所 |
|------|--------------|-----|-----------------------|
| Aコース | ダム管理支所 B1 B2 | 60分 | 上段監査廊、主放水設備、維持放流棟、噴水前 |
| Bコース | ダム管理支所 B2 | 30分 | 維持放流棟、噴水前 |

【ダム案内図】



見学の様子



B1連絡通路



ダム諸元の説明(B1展望台)



主放水設備等の説明



下段監査廊から
維持放流棟への下り通路



維持放流棟内部



噴水前

小学生のダム見学

県内の小学校の生徒99名が、真名川ダムを見学。
職員が施設を案内。

【見学日】平成23年9月29日(木)



ダムについてビデオで説明



小学生の壁新聞

15. 九頭竜ダム展示室

概要

平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っており、本年も継続して開設。

【場 所】 九頭竜ダム堤体右岸ダムサイトの
九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】 9:30 ~ 16:30
(平日・休日を問わず開館)

【九頭竜ダム展示室 入場者数】

集計期間：平成23年2月下旬 ~ 12月(316日)

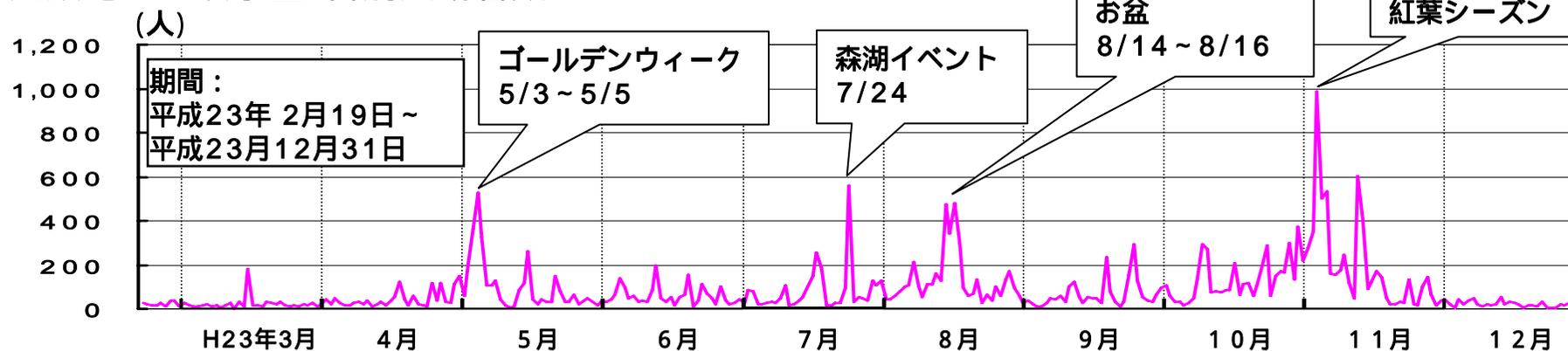
入場者数：延べ 26,434人

月平均：2,543人 日平均：84人



展示室位置図

【九頭竜ダム展示室 日別入場者数】



展示内容

- 九頭竜ダム：九頭竜ダム貯水池の航空写真と九頭竜湖についてのパネルを展示
- 地域情報：九頭竜ダムがある大野市を紹介するパネルを展示
- 災害情報：福井豪雨などでの被害状況の写真等を展示
- 九頭竜ダムでの発電：九頭竜ダムと九頭竜川水系で行われている発電について展示
- 日本全国のダム写真カード：ダムマニアの方から提供していただいた、日本全国のダムカードを展示
- ビデオ上映：九頭竜ダムを建設した様子についてのビデオ(約25分)を上映
- 流木アート：九頭竜ダムに流れてきた流木を用いて作られた流木による様々なアートを展示



展示室入り口



九頭竜ダムコーナー



地域情報コーナー



災害情報コーナー



発電についての展示



ダムマニアカード



ビデオ上映



流木コーナー

16. ノーム自然環境教育事務所(奥越前まんまるサイト)



概要

奥越地域の自然・産業資源を媒介して、次世代の地域を担う人材育成を目的としています。また、地域内の多様な人材・農林業資源・暮らしや文化を「まっ—るく」活かしてエコ・グリーンツーリズムを進めていくことを大切にしています。

継続事業

【新緑&夏休みカヌー体験】(場所:和泉下山の淵)



活動内容

- ・事前レクチャー
- ・パドルの使用方法
- ・正しいPFDの装着
- ・スローロープの使用方法
- ・河川でのコミュニケーション
- ・落水時の対処方法

【川の安全基礎講座】(石川・福井にて毎年1回)



講座内容

- ・PFD装着しての川流れ
- ・川の流れを読み解く
- ・中州での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング

【親子体験】

5回程度 (幼児~小学生やスポ少団体:下打波)



活動内容

- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・PFDを装着しての川流れ
- ・溪流下りや登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

【地域連携】(大野市環境課委託)



活動内容

- ・地域内の河川に住む生き物調査
- ・過去と現在の河川の移り変わり
- ・採取した生き物を描く(詳しく観察)
- ・親子でのコミュニケーション
- ・PFDの正しい装着方法の理解
- ・流しソーメン

新規事業

【学校での河川活動の支援】



活動内容

- ・森と川の生き物探し
- ・清流での川遊び
- ・サンショウウオの生息環境の分析
- ・全体活動のまとめ



【都市部の教育団体の受け入れや地域漁協さんと連携した活動】



- ・小学生の体験活動受け入れ
- ・漁協さんからの釣り指導

【川遊び拠点の整備】(空き家等の利用)



将来的には「宿泊」がきちんとできるように整備していきたい

【JRを利用して「夏休み川遊びツアー(主に下山)」の実施

今年は2度ほど実施。
合計60名ほどの参加者であった。

来年度に向けて

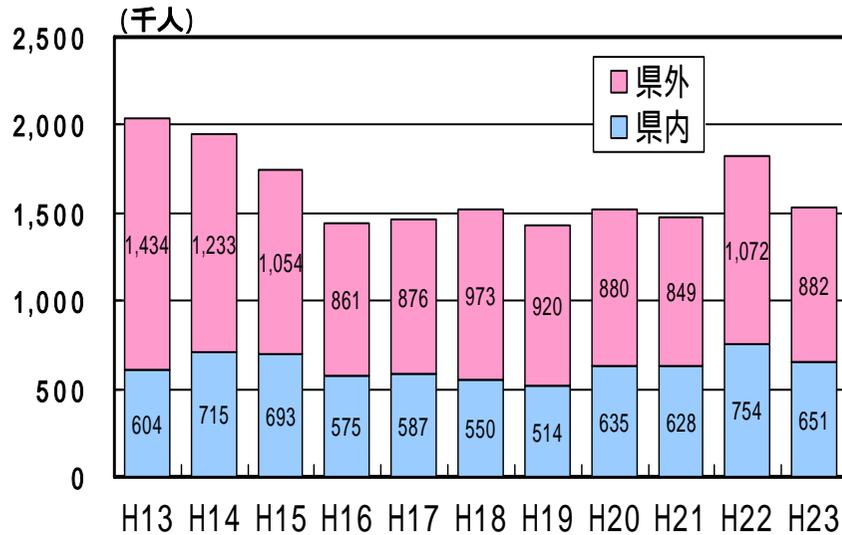
- ・夏休みJRを利用しての日帰り川遊びツアーの回数を増やす
- ・教育団体の受け入れ(特に川遊びに関して)。PRしていく。
- ・川の安全講座を奥越地域内で実施(予算をどうするか?)。
- ・川遊び拠点の整備 宿泊できるように外壁等整備したいが……
- ・近隣宿泊施設(ホテル・旅館等)との連携事業

. 平成24年度の活動予定

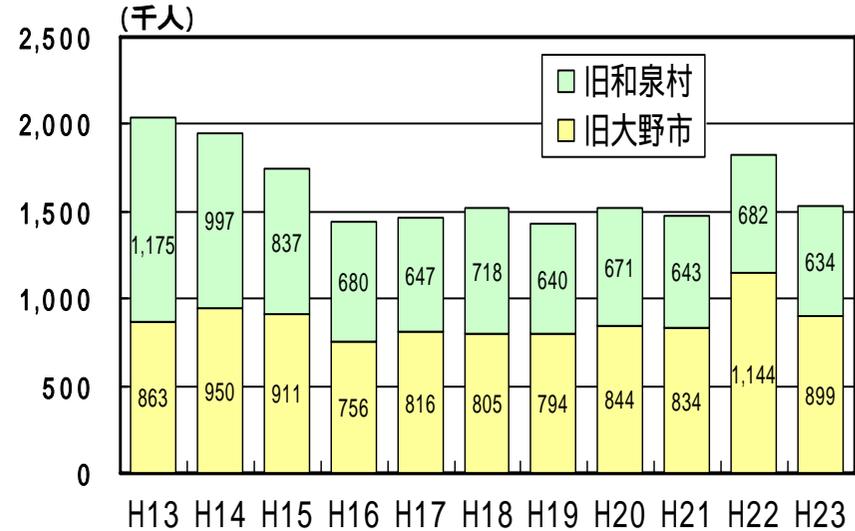
1. 森と湖に親しむ旬間行事
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり
3. もりみずカップ少年サッカー大会
4. 『水源地の森づくり』植樹会
5. 越前おおのエコフィールド
6. NPO法人九頭竜自然楽校
7. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ
8. 真名川ダム弾力的運用管理
9. ダム湖の自然環境保全の取り組み
10. 流木の有効活用
11. ダム湖周辺の紅葉情報提供
12. ダムカードの配布とダムマニアとの連携
13. 真名川ダムのダム内部見学
14. 九頭竜ダム展示室
15. ノーム自然環境教育事務所

【参考資料1】 大野市の観光動向

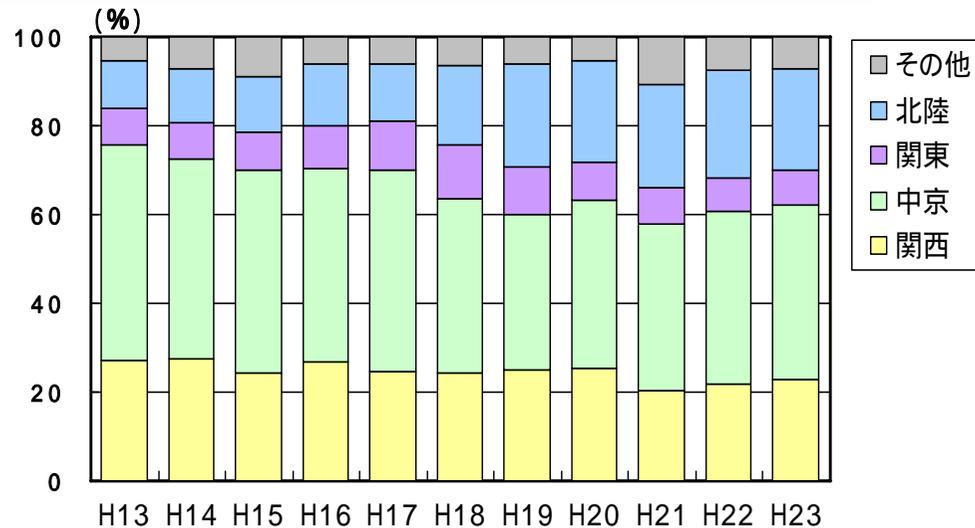
観光客入込み数内訳 (県内・県外)



観光客入込み数内訳 (旧大野市・旧和泉村)



県外観光客発地別内訳



大野市における観光入込み客数は、平成13年以降減少を続け、平成16年ころからは横ばいとなっている。平成22年は越前大野城築城430年祭の実施効果により平成15年並に回復しているが、平成23年度は震災や有料道路無料化廃止の影響もあり、153万3千人にとどまった。

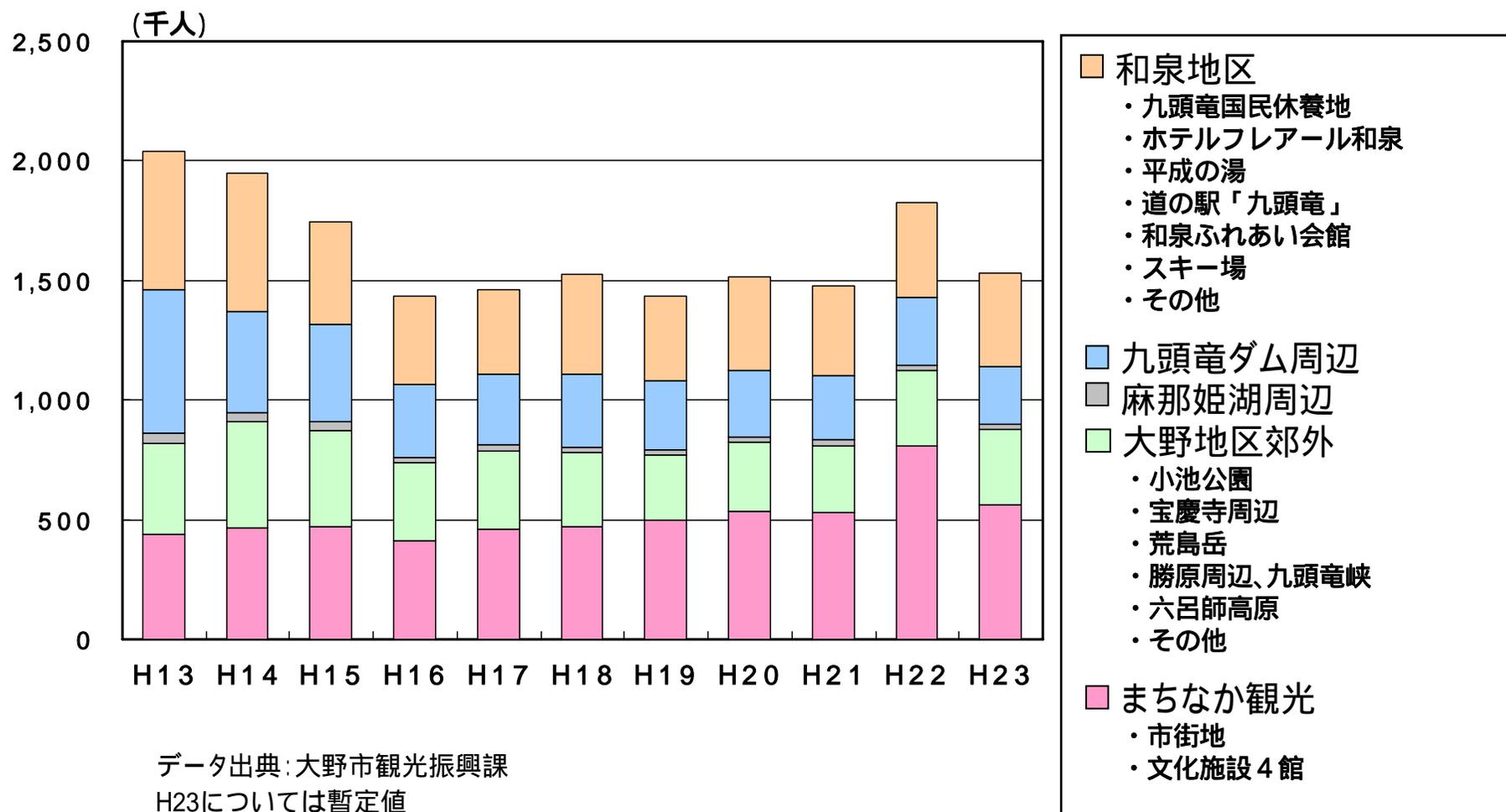
全体の6割弱が県外からの観光客であり、県外客のうち中京方面からが約4割、関西方面と北陸方面からがそれぞれ約2割となっている。

データ出典：大野市観光振興課
H23については暫定値

【参考資料2】 大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光地の観光客入込み数

大野市の主要観光地の観光客入込み数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は15%程度、「麻那姫湖周辺」の占める割合は1%程度である。



【参考資料3】 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン

施策の体系

森林

森林の保全・育成

水源林の保全
林業ボランティア

森林資源の活用

雑木林(里山)の活用
木工・ログハウス工房づくり
自然体験の拠点づくり

水

健全な水環境整備

水路網や清水の復元
水を活かした公園づくり
地下水位のモニタリング

水環境の啓発

水文化や愛護活動
親和性の高い水生生物の保全
家庭排水対策

利水運用の工夫

農業用水管理との連携
河川の維持流量等の確保の研究
地下水保全を図る貯水池運用の研究

交流

人材・組織の育成

市民参加活動の拡充
将来を担う人づくり
水源地域のファンづくり

水辺環境の活用

カヌー体験ゾーン形成
フィッシングゾーン形成
親水エリアのネットワーク
湖畔めぐりルートづくり
中島公園等の充実
水辺の利用のルールづくり

広域交流の促進

ブランドイメージづくり
地域間交流の促進
情報ネットワークづくり

施策の実施イメージ



- 健全な水環境整備
- 水環境の啓発
- 利水運用の工夫



御清水



奥越高原県立自然公園



森林

- 森林の保全・育成
- 森林資源の活用

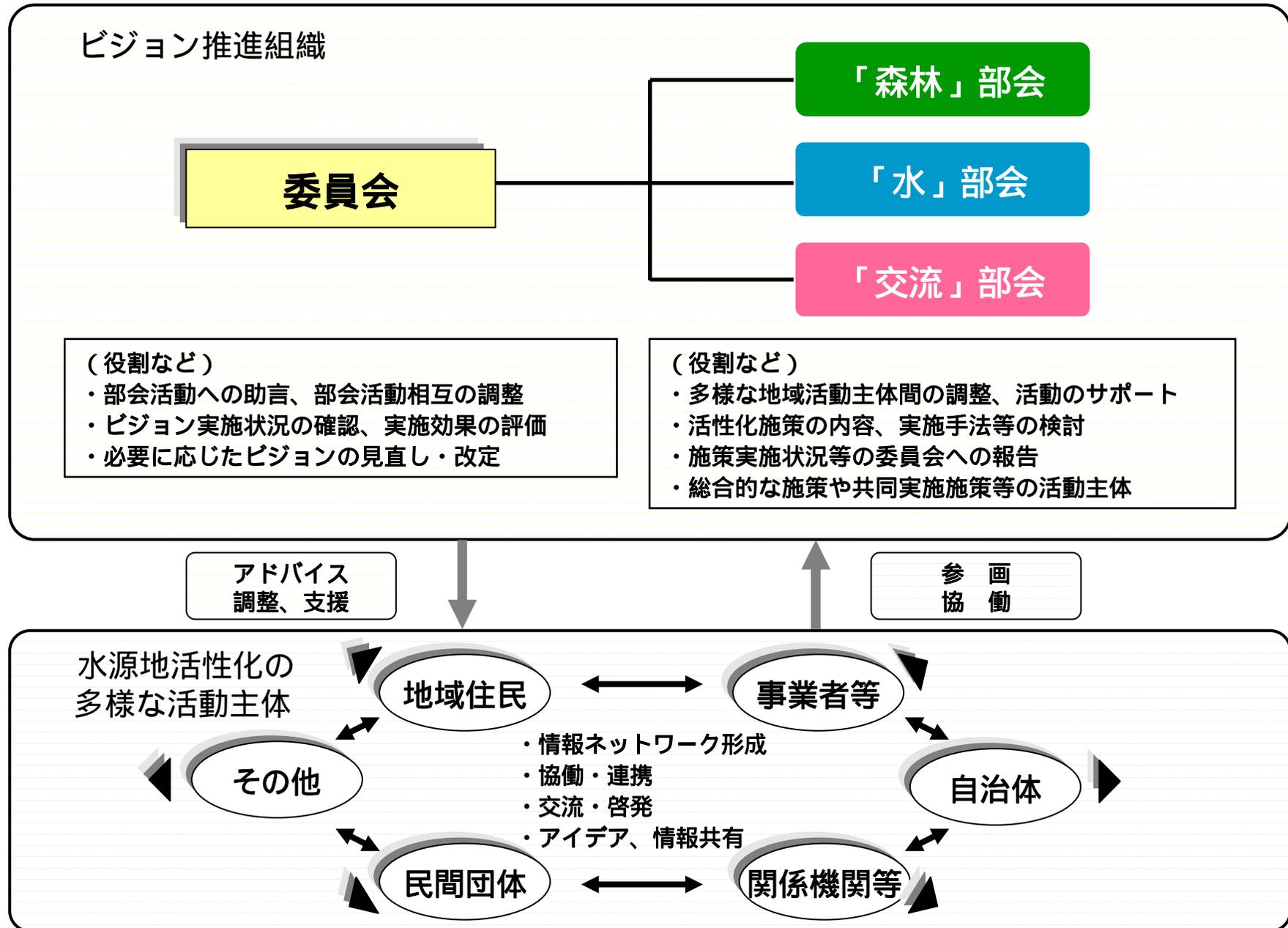
交流

- 人材・組織の育成
- 水辺環境の活用
- 広域交流の促進

九頭竜紅葉まつり



ビジョンの推進方法



| 現行規約（平成 18 年 2 月 28 日） | 改正（案） | 改正理由 |
|--|--|------|
| <p>真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 規約</p> <p>（名 称） 第 1 条 本会は、「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」（以下「委員会」という）と称する。</p> <p>（目 的） 第 2 条 本委員会は、水源地域ビジョンの実施状況の把握と評価、並びに、必要に応じたビジョンの改定を行うことにより、ビジョンが着実に推進されることを目的とする。</p> <p>（委員会） 第 3 条 委員は大野市長および近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所長が委嘱する。 2 委員は別表 1 のとおりとする。 3 委員会には、委員の互選によって委員長をおく。 4 委員会には、委員長の指名によって副委員長を 1 名おく。 5 委員会において市民参加や各施策等の具体的な検討等が必要と認めるときは、委員会の下部組織として部会を設けることができる。 6 部会に関する事項は必要に応じて別途定める。 7 委員会の任期は 3 年とし、再任を妨げない。</p> <p>（委員長の職務） 第 4 条 委員長は、会務を総務する。</p> | <p>真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 規約</p> <p>（名 称） 第 1 条 本会は、「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」（以下「委員会」という）と称する。</p> <p>（目 的） 第 2 条 本委員会は、水源地域ビジョンの実施状況の把握と評価、並びに、必要に応じたビジョンの改定を行うことにより、ビジョンが着実に推進されることを目的とする。</p> <p>（委員会） 第 3 条 委員は大野市長および近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所長が委嘱する。 2 委員は別表 1 のとおりとする。 3 委員会には、委員の互選によって委員長をおく。 4 委員会には、委員長の指名によって副委員長を 1 名おく。 5 委員会において市民参加や各施策等の具体的な検討等が必要と認めるときは、委員会の下部組織として部会を設けることができる。 6 部会に関する事項は必要に応じて別途定める。 7 委員会の任期は 3 年とし、再任を妨げない。</p> <p>（委員長の職務） 第 4 条 委員長は、会務を総務する。</p> | |

| 現行規約（平成 18 年 2 月 28 日） | 改正（案） | 改正理由 |
|--|--|------------------|
| <p>2 委員長は必要な都度、委員会を招集し、開催する。</p> <p>3 副委員長は、委員長の職務を補佐し、委員長不在時には委員長の職務を代行する。</p> <p>（公 開）</p> <p>第 5 条 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会は原則として公開とする。</p> <p>2 事務局は議事内容の概要を関係住民が閲覧できるよう必要な措置を講ずるものとする。</p> <p>3 ただし、委員長が非公開とする議題であることを認めた場合には非公開とする。</p> <p>（事務局）</p> <p>第 6 条 委員会の事務局は、大野市企画課および国土交通省近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所に置く。</p> <p>2 事務局は、委員長の指示を受け委員会の事務を行う。</p> <p>（その他）</p> <p>第 7 条 この規約の定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。</p> <p>附 則</p> <p>本規約は、平成 18 年 2 月 28 日から施行する。</p> | <p>2 委員長は必要な都度、委員会を招集し、開催する。</p> <p>3 副委員長は、委員長の職務を補佐し、委員長不在時には委員長の職務を代行する。</p> <p>（公 開）</p> <p>第 5 条 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会は原則として公開とする。</p> <p>2 事務局は議事内容の概要を関係住民が閲覧できるよう必要な措置を講ずるものとする。</p> <p>3 ただし、委員長が非公開とする議題であることを認めた場合には非公開とする。</p> <p>（事務局）</p> <p>第 6 条 委員会の事務局は、大野市秘書政策局行政戦略課および国土交通省近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所に置く。</p> <p>2 事務局は、委員長の指示を受け委員会の事務を行う。</p> <p>（その他）</p> <p>第 7 条 この規約の定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。</p> <p>附 則</p> <p>本規約は、平成 18 年 2 月 28 日から施行する。</p> <p style="text-align: center;">平成 24 年 月 日一部改正</p> | <p>組織変更に伴う改正</p> |